



ふれあい

子どもたちの力 × 田名地区社会福祉協議会

《みんなでつくろうほっとする田名のまち》

「社協を知ってほしい」「人とのつながりを持ってほしい」「地域を知ってほしい」ということから、子どもたちとかかわる事業を進めて来ました。子どもたちが地域の活動に参加し、大人と一緒に時間を過ごし、つながりを感じるまちづくり、将来の担い手の育成を考えています。これから「地域とのかかわり、人とかかわり」を絶やさず、楽しく参加しやすい事業を行ってまいります。今回、これまで田名地区の福祉活動に積極的に参加してもらった子どもたちにアンケート調査を実施したところ、率直な考えや、純粋な心、課題点、子どもたちが持つ“力”などが見えてきました。今年度行ってきた事業を子どもたちの感想と共に紹介します。

毎月第2土曜日は和い輪い田名で 駄菓子屋さんを開催

田名地区の真ん中ほどの場所で開いている「和い輪い田名」では、月に1回駄菓子屋を開催しています。子どもたちにもこの場所を知ってもらいたい、親しんで欲しいという思いから始めました。お店番は主に高齢の方。大人のお客さんもこの空間で出来る子どもたちとの交流に元気をもらっています。手作りの遊びも用意しているので、どうぞ一緒に楽しんでください。並んだ駄菓子は10円20円がいっぱい！かごに入れながら計算にチャレンジするのも良いですよ！



お菓子を選ぶ目は真剣です！



田名ふれあい交流農園 楽しかった！ おいもほり



田名地区のボランティアグループ「田名畑の会」では11月初旬の土曜日、児童養護施設「中心こどもの家」の子どもたち22人を招待して、さつまいも・里芋の収穫体験と試食会を今年も開催しました。

秋冷えの中、子どもたちは土の中から次々と出てくるさつまいもに歓声をあげたり農園を土まみれになりながら駆け回ったりして自然とのふれあいを楽しんでいました。

もみ殻で焼いた焼きいもに「甘くてホクホクでおいしい！」と大満足。おみやげの手作りのポップコーンも大人気で農園は子どもたちの元気な声に包まれた楽しい収穫体験となりました。



今回は田名北小学校6年生が「地域の活動を広めたい」という思いで作成してくれた「田名北広HO!紙」も同封しています。ぜひご覧ください。



田名小学校

4年生の福祉学習でポッチャ交流会

令和2年から、高齢者との交流を目的とした福祉学習としてポッチャを行っています。今年は地区社協から約20名が田名小学校へ出向きました。ボールを投げる目は子どもも大人も真剣です。上手な高齢者たちに子どもたちもびっくり！最初は緊張気味の子もたちも、時間が経つにつれ笑顔と歓声が増えました。自然と交流が広がるのは誰でも楽しめるポッチャだからこそ。来年はどんな交流ができるのか楽しみです。

誰でも楽しめるスポーツだと知ったのでもっといろんな人に広めたい！

上手な人が多くて驚いた！お年寄りのイメージが変わった！

ポッチャを極めたいからまた地域の活動に参加したい！



PTA主催田名っ子フェスティバルに参加

令和4年から田名っ子フェスティバルに参加しています。ポッチャ体験コーナーは、事業部会と老人クラブ連合会が協力し、始めから終わりまで大盛況。休む間もなく150名以上の小学生がポッチャの体験をし、親子で楽しんでくれました。

和い輪い田名運営部会が参加した缶バッチ作り体験コーナーでは、子どもたちが自分で描いた絵で缶バッチを作りました。とても好評で約180名が参加してくれました。

ジャックボールに近いのはどれかな？



ママより僕の方がうまく投げられた！

上手できるかな？



友達とおそろいの缶バッチができて嬉しい！



田名中学校

美術部が大活躍！ たなワン顔はめパネル制作

田名地区社協のイメージキャラクター「たなワン」の顔はめパネルは、夏に開催したふるさとまつりに向けて制作してもらいました。その後は和い輪い田名で常設展示をしています。公民館文化祭やイベントで活用することにより、若い世代へ「たなワン」を知ってもらえるきっかけになっています。



たなワンの色を調整するのが難しかった。

楽しかったので機会があったらまたやりたい！

もらった嬉しいので花束を描いた。

花火の背景はみんなで考えた。初めてにしてはよくできた！

達成感を感じた！

柔らかで優しい印象の絵にした。

敬老事業ポストカード制作

敬老事業は80歳以上の高齢者へお祝いの気持ちを伝える事業。お祝い品と一緒に美術部4人が制作したカードを、自治会、民生委員の方々の協力で約2,800人にお届けしました。受け取った方からは、「頑張って素敵な絵を描いてくれて嬉しい」、「自分もこんな絵を描いてみたい」、「玄関にポストカードを飾っているよ」などの声が届きました。



家政部とソフトボール部がボランティア

夏の「第40回 田名ふるさとまつり」には家政部、秋の「第41回 公民館文化祭」にはソフトボール部がボランティアとしてお手伝い。駄菓子、らくがきせんべい、焼きそばの販売や輪投げコーナーを元気な声で盛り上げてくれました。若い力で訪れた人も自然に笑顔になっていました。

最初は慣れない作業に遠慮がちだった生徒たちも、声をかけ合い自然に役割を分担。さすがのチームワークでした。各イベントを通して、素晴らしい交流ができました。



田名北小学校

田名ボランティアセンター新1年生の見守り活動

今年も、田名ボランティアセンターでは4月に入学した新1年生が学校に慣れるまでの約1カ月間の見守りボランティアに協力しました。「やりがいを感じる」、「子どもたちが声をかけてくれて嬉しかった」と毎年参加しています。6月に行われた「感謝の会」では、1年生の成長を感じることができました。



2年生がまち探検で和い輪い田名へ

昨年に引き続き、まち探検の授業で来てくれました。「たなマイスターになるぞ!」「オー!」の掛け声で始まったインタビュー。子どもたちからは「なんで和い輪い田名という名前なの?」「ここで何ができますか?」などの質問があり、パソコンで動画を撮影しながら熱心に記録をとっていました。

田名小学校のすぐそばにある『和い輪い田名』。いつでも遊びにきてくださいね!



6年生とポッチャ交流会

6年生とは初めてのポッチャ。2クラス62名の子どもたちと一緒に楽しみました。先生からも「誰でも平等に楽しめるので学年を超えた交流もできそう」との声。「楽しかった人?」の質問に「はい!」と子どもたちの大きな返事が聞けてとても嬉しい時間でした。



地域の方が上手でびっくりした!

他の学年にも教えたい。

次はポッチャのルールを勉強して審判の手伝いをしたい。

PTA主催ふれあい広場に参加

コロナ禍で中止になっていた「ふれあい広場」が再開され、ポッチャ体験で参加しました。体育館の2面に作ったコートは、常に順番を待つ子どもたちでいっぱいでした。初めてポッチャを体験した子は、とても面白いから、もっとやりたいと何度も並んでくれました。

総合学習が楽しかったから遊びに来た!



おおぞら級に通う生徒が和い輪い田名のボランティアを体験

11月末の2日間で田名中学校校おおぞら級の生徒たちが、地域交流のためボランティア体験に訪れました。大人のお客さんとの会話に相槌をうちながら、明るくお相手したり、小さな子の遊び相手もしてくれて、いつも目が離せないお母さんもその姿を見ながらほっとお茶を楽しむ場面がありました。



お兄さんたちが居てくれるだけでも、キラキラ笑顔☆

お茶出しを教わりながら...



素敵なイラストありがとう!



絵の上手な生徒たちのおかげで手作りのランチョンマットや缶バッジも良い物ができました。

相手の気持ちを受け入れることができる素敵な生徒たちで、少しの時間でしたが、大きな存在感を感じさせてくれました。

一緒に話せてお互いに教わることもいっぱい!



相模田名高等学校

子ども食堂「みんなよっといで!たな食堂」で料理同好会の生徒がボランティア

現在1年生だけで活動中の料理同好会。令和2年9月から、毎月当番を決めて参加してくれています。最初は、不安そうにしていた生徒たちも、今では自分から進んで仕事を見つけてお手伝いしたり、受付などの接客も協力してくれています。「生徒たちが来てくれて、お弁当箱におかずを詰める作業など、スムーズに進んでとても助かっています」とスタッフも笑顔で話します。生徒同士、子ども食堂のスタッフともコミュニケーションをとりながら毎回楽しい時間になっています。



お客さんが笑顔で「美味しい!」と言ってくれると嬉しくて「次回頑張ろう!」と思います。

ボランティアの人たちが名前を覚えて優しく声をかけてくれる。

スタッフの皆さん、部員とも信頼関係が築けて毎回楽しいです。

地域で手助けしあっていて「いいなあ」と思う。



6年生総合学習で田名地区社協事業に参加

6年生から、「地域のために私たちにできる事はありますか?」と嬉しい相談がありました。そこで、1学期に田名地区社協が関わる活動を紹介し、2学期に6年生が自分たちにできる事を考えて実際に活動に参加してくれました。小学生が作成したチラシは、子どもたちが近隣のスーパーや飲食店等をお願いをして掲示していただきました。子どもたちが作成した広報紙もぜひご覧ください。

《1学期 活動内容紹介》



興味を持った活動の話を詳しく聞いてみよう

地域の事を知るきっかけになった。

田名地区社協って何だろうと思ったけど、よくわかった。

地域に貢献したい!

人助けしているようでうれしかった。

大変な事を毎日やっていますすごい!

田名でしかできないことができた。

活動を広げてほしいという気持ちを受け取って頑張りたい。

お年寄りと関わる機会が少なく戸惑ったけど楽しかった。

《2学期 自分たちが地域の為にできる事を考え、活動に参加》

和い輪い田名でお手伝い



ポッチャを広める動画作り



たなワン安心パトロールのチラシ作り



子ども食堂のチラシ作り



花植えのボランティア活動



ボランティアセンターチラシ作り



子ども食堂のメニューを考える



ほっとカフェみずのお手伝い



地区社協を広める広報紙作り



地域の人たちからの感想

- ・みんなとカルタをして、とても元気になった。
- ・子どもたちのラップが聴けて感激でした。
- ・とてもやさしく丁寧に折り紙を教えてくださいました。
- ・気遣ってくれてうれしかった。
- ・話し相手をしてくれてありがとう。また何度でも来てほしい。
- ・子どもたちが来てくれている貴重な時間に参加できて良かった。

おしゃべりサロンに参加し高齢者と交流



お店に掲示していただきました



福祉委員ポッチャ大会

今年も相模田名高校の文化祭で行われたポッチャ交流試合に参加しました。福祉委員会の生徒には事前に田名地区社協が講習を行い、当日は生徒が運営・審判を行いました。競技中は相模福祉村の利用者へのさりげないサポートや、声掛けの姿を見る事ができ、素晴らしい交流となりました。



茶道部が地域の方へお点前と詩吟を披露

おでかけ和い輪い田名(特別版)として、田名民家資料館で茶道部がお点前と詩吟を披露してくれました。当日は、2席合わせて定員の60名の地域の方が参加してくださいました。「こんな貴重な機会に参加できて、とても幸せです」「お菓子もお茶も、とてもおいしかったです」「茶道部の皆さんがとても素晴らしかった」と感想を寄せてくれました。早速、これからも続けてもらいたいとの要望がありました。



学校外で茶道をするのが初めて。たくさんの人に見てもらい良かった。

地域の人と交流できて良かった!また参加したい。

とても緊張した。スタッフの皆さんと協力できて楽しかった。

自分が思ったより大勢の方が見に来てくれて緊張したが、最後までやり遂げられてよかった。

ちゃんと人と交流できるか心配だったけど、杞憂(きゆう)に終わった。

今回の反省をふまえ、今後の部活で活かしていきます。

スマホ教室

有志の生徒によるスマホ教室を和い輪い田名で開催しています。毎回定員オーバーになるほどの人気ぶり。人には聞きにくいスマホの操作も優しく丁寧に教えてくれると大好評です。将来は福祉関係の仕事につくのが夢だという生徒さんもいて、良い経験にもなっています。



参加した部員全員がまた地域の活動に参加したいと言ってくれたよ!



小学生も 高校生も 大人も大集合！

第1回

たなワン ポッチャ大会開催



トロフィーをかけた
真剣勝負



12月上旬、田名小学校体育館にて地域団体対抗ポッチャ大会が開催されました。田名小学校、相模田名高校、老人クラブ連合会、自治会連合会、連合婦人会、民生委員児童委員協議会、地域包括支援センター、おしゃべりサロン代表、地区社協から80名の参加者が集まりました。今年度ポッチャを通して交流を広げてきたこともあって経験者も多く、スムーズに進み、あちらこちらで歓声や拍手が聞こえました。また、高校生が審判に協力してくれたり、小学生の保護者の応援があったりと賑やかな時間になりました。

たなワンが描かれたトロフィーも作られ、これからも回を重ね、ポッチャを通じた交流が広がることを望みます。



大会結果

- 1位 相模田名高校Bチーム
- 2位 民生委員児童委員協議会Aチーム
- 3位 田名っ子Aチーム (田名小4年生)



子どもたちから届いた嬉しい声

田名地区の
たくさんの人に
守られていたんだね
(田名北小6年)

地域の活動は
たくさんの人と仲良く
なれるチャンス！
(田名小4年)

福祉のことを楽しく
知ることができた。
他の活動にも
参加したい！
(田名小6年)

ポッチャが誰でも
できるものだと知り
もっとたくさんの人に
広めて中学校でも
取り組みたいと思った！
(田名小4年)

自分も楽しかったし
参加している人も
楽しそうだった！
(相模田名高校2年)

たくさんの人に
茶道の発表ができて
嬉しかった
(相模田名高校3年)

私もどんどん
お手伝いがしたい！
力になりたい！
(田名小4年)



田名地区社会福祉協議会では

学校・保護者との連携をさらに深め
子どもたちがいつでもボランティア活動に参加できる環境づくり
参加できるメニューの用意・やりがいを感じてもらえる工夫

子どもたち・見守る大人たちが
地域への愛着と誇りを持てるような地域づくり
地域支援の方策と体制づくり

これらを継続して検討し実現を目指します



地域の輪
どんどん
広がれ～！



あたたかい気持ちもありがとう!



田名地区社協の活動は、皆様の賛助会費や募金寄付によって、支えられています。たくさんのご協力に心より感謝申し上げます。

相模原市社会福祉協議会賛助会費 957,340円

このうちの5割 (478,670円) が、田名地区社協へ配分されます。



活動の一部を
紹介します

寄付や募金の使い道

地域福祉を広めるために

- * 福祉講座の開催
- * 広報紙等での情報提供



見守り合い、支え合いの仕組みのために

- * ボランティアセンター運営やボランティア活動の促進
- * たなワン安心パトロール事業



交流の場作りのために

- * 和い輪い田名の運営
- * 田名ふれあい交流農園の実施
- * 子育てサロンや高齢者サロン 子ども食堂への支援等



子どもたちの交流のために

- * 学校行事等でポッチャ体験、缶バッチづくり



田名地区社協へご寄付頂いた方

(令和6年1月末日現在 順不同)

(公社)相模原法人会田名支部 様
 田名チャリティゴルフ大会実行委員会 様
 塩田自治会(睦月会) 様
 杉田睦子 様

赤い羽根共同募金

954,920円

「じぶんの町を良くするしくみ」赤い羽根共同募金は、社会福祉施設の整備や地区社協が取り組む福祉活動にも活用されています。

年末たすけあい募金

584,278円

生活にお困りの方への支援や子ども達の居場所づくりの活動を行う団体への財源となっています。

日本赤十字会員増強運動

1,165,080円

自然災害時の救援物資活動、献血活動、国際救助活動等を推進する財源となっています。

編集後記

令和5年コロナが第5類に移行され、やっと「マスクのない生活が…」と思いきや、今度はインフル「なかなかマスクは、はずせません。」そんな中、多くの事業の取材に行き、盛り沢山の内容になりました。「見やすく、わかりやすい広報紙」をお届けします。

令和5年度広報部会員

大谷千恵子	丸山美奈子
江成千代子	梶原恵美子
小林 郁子	重村 辰朗
山本 倫也	白井 眞
鳥羽 直子	井上 明美